

第92回

箱根駅伝

2016
ガイドブック

NIHON UNIVERSITY
HAKONE EKIDEN
2016 GUIDE BOOK



走れ日大!
11万人の
仲間と共に

KORA 東京箱根間往復大学駅伝

日大、史上初4連覇と、 伝説の「箱根の職人・宮ノ下の勇者」

日本大学 箱根の 伝説

現代の「山の神」と呼ばれる、順天堂大・今井選手、東洋大・柏原選手、青山学院大・神野選手たちが登場する遥か昔、戦前の時代に、山の神の元祖ともいえる「箱根の職人・宮ノ下の勇者」と語られる走りを残した伝説の選手がいました。

日大の箱根駅伝選手として初のオリンピック代表となった鈴木房重（すずき ふさしげ、1914年-1945年）がその人です。

鈴木選手は、日大在学時の1935年（昭和10年）から6年連続で5区の走者として箱根駅伝に出場し、2年時から3年連続区間賞を獲得するなど活躍。第16回大会（1935年）からの日大4連覇、第21回大会を含めて5度の総合優勝に貢献しました。

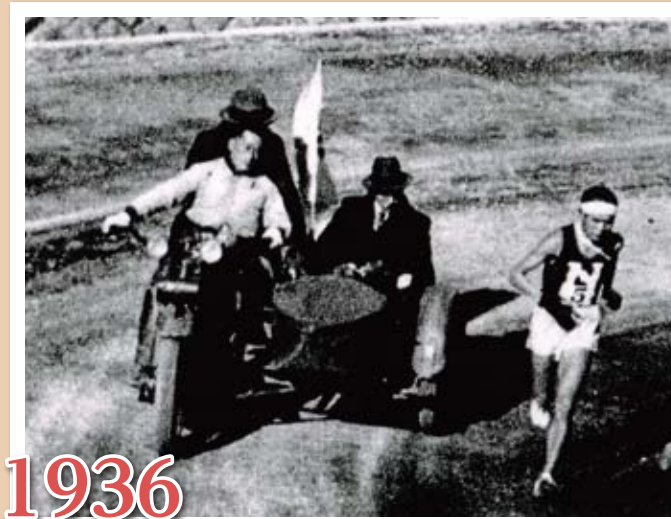
とくに4連覇中の活躍はすさまじく、4大会とも2位で襷を受けた後に逆転で首位を奪い、往路トップでゴールしています。

日大は4連覇後の第20回大会（1939年）こそ惜しくも総合2位となりますが、翌年の第21回大会（1940年）には10区間中6区間で区間賞を奪う圧倒的な強さを見せ、5度目の総合優勝を果たしました。



1935

第16回大会（1935年）／先行していた早稲田・渋谷選手をかわし、雪の箱根路をトップで快走、往路新記録でゴール。



1936

第17回大会（1936年）／早稲田をかわしてトップに立つと、2位に5分10秒差をつける区間賞でゴール。



1937

第18回大会（1937年）／3区・4区と首位だった明治・佐藤選手を宮ノ下付近でとらえて逆転、2年連続となる区間賞の走りで見せる差をつけた。



1938

第19回大会（1938年）／明治より3分3秒遅れで小田原を出発。芦ノ湯付近で先行する明治・佐藤選手を2年連続で抜き去り、3年連続の区間賞。

4連覇の幕開けとなった初優勝は、当時全盛期だった早稲田大学の3連覇を阻止したものでした。往路で当時の新記録となるタイムで引き離し、復路でも全員が踏ん張って差を広げ、総合でも新記録で優勝を果たしました。

翌年以降も連勝し史上初の4連覇を成し遂げますが、はじめの3勝はいずれも2位となった早大を、復路で一度も首位を譲ることなく突き放す展開となりました。

当時の日大は、山で首位を取り、復路に他校が手薄な区間で突き放し優勝というパターンが確立していました。選手全員の活躍があったのはもちろんですが、鈴木選手がそこで欠かせない役割を果たし立役者となっていたのは言うまでもありません。

鈴木選手は箱根駅伝での活躍以外にも、第16回大会後の3月に行われたベルリンオリンピック予選大会で当時世界最高記録を出し、男子長距離日本代表となりました。



初優勝した1935年に撮影された1枚／本学の戦前期最強連覇時代の主人公となった方々。前列向かって一番左が鈴木房重選手。前から2列目左から3番目が初代監督の丸三郎先生。その右隣の初代箱根駅伝優勝旗を持つのが、後に本学駅伝コーチ、監督、関東学生連会長を歴任した森本一徳先生。

第92回東京箱根間往復大学駅伝競走出場校

	大学名	出場回数	優勝回数
シード校 (第91回ベスト10)	青山学院大学	8年連続 21回目	1回
	駒澤大学	50年連続 50回目	6回
	東洋大学	14年連続 74回目	4回
	明治大学	8年連続 58回目	7回
	早稲田大学	40年連続 85回目	13回
	東海大学	3年連続 43回目	0回
	城西大学	13年連続 13回目	0回
	中央学院大学	14年連続 17回目	0回
	山梨学院大学	30年連続 30回目	3回
	大東文化大学	4年連続 47回目	4回
予選会突破10校	日本大学	4年連続 86回目	12回
	帝京大学	9年連続 17回目	0回
	日本体育大学	68年連続 68回目	10回
	順天堂大学	5年連続 57回目	11回
	神奈川大学	6年連続 47回目	2回
	拓殖大学	3年連続 37回目	0回
	法政大学	2年ぶり 76回目	0回
	中央大学	87年連続 90回目	14回
東京国際大学	初出場	0回	
上武大学	8年連続 8回目	0回	
関東学生連合	オープン参加		

日本大学陸上競技部



陸上競技部 特別長距離部門監督

小川 聡

本年度のチームは今までコツコツと努力をしてきた選手、お互いに切磋琢磨しあえる選手が台頭してきたチームです。予選会をトップで通過し、チームの雰囲気も箱根駅伝に向け良い状態へと仕上がっています。校友皆様の思いを糧に込めチーム一丸となり闘いますので熱い応援をよろしくお願致します。



コーチ

堀込 隆



コーチ

武者 由幸



コーチ

河野 真史



アシスタントコーチ
吉田 雅哉



アシスタントコーチ
宮崎 貴雅



おぎの しんのすけ

荻野 真乃介 主将

4年

- 学部・学科／経済学部・経済学科
- 出身高校／浜松日体高校
- 目標・決意／今年度の箱根駅伝では、前大会の悔しさをバネにチーム一丸となってシード権を目指します。日大の誇りを胸に、今年一年間の集大成として最高の結果が得られるよう、大会当日は選手全員が全力を尽くし闘います。



いしかわ そうま

石川 颯真 副主将

3年

- 学部・学科／文学学部・体育学科
- 出身高校／佐野日大高校
- 目標・決意／走りて「自分」を表現し、襷を運ぶ姿で「今年度のチーム」を体現します。そして何より昨年繋げなかった当時の4年生の心と気持ちもピンクの襷に込めて走らなければなりません。又、先輩方が築き上げた伝統と誇り、プライドを守るべく、名門と呼ばれるに相応しい継走で復権への第一歩を刻みます。応援よろしくお願致します。



戸ノ湖 箱根駅伝記念碑とブロンズ像



6区 / 朝7時よりスタート地点付近では応援リーダー部・吹奏楽研究会による応援が指定場所で繰り広げられている。戸ノ湖をスタートし最初の4.5kmをのぼり切ると、あとは一気に標高差840mの「山下」。最速100m14秒台というハイスピードでの下りは、選手たちの足に平地の何倍もの負担を強い。記録を狙うには残り3kmが鍵。緩やかな下りがまるで上り坂に感じられ、時に痙攣を引き起こすほどに選手の脚力を削り取る。往路で10分以上遅れをとると復路・戸ノ湖一斉スタートが行われてタイムが繰り上げられるため、下位の順位把握が格段に難しくなるので要注意。本学では第80回大会から4年間山下りの6区を走った末吉翔選手が第83回大会で区間賞を獲得した。

6区 応援区長 鈴木 允 (法学部) 緊急連絡先090-2130-5713

区間記録 / 58分31秒 / 三浦雅裕 (早稲田大学) 第91回 (2015年)

8:00	-	-	8:16	-	8:28	8:35	8:40	-	8:50	-	9:00			時予
0km	1.6	4.5	5.0	8.1	9.1	11.7	13.7	17.1	17.9	18.8	20.8			距離
23.2	21.8	18.9	18.4	15.8	14.3	11.2	9.6	6.2	5.5	4.5	2.5	1.5	0.7	0km
13:31	13:26	13:14	-	13:00	12:48	12:38	-	12:28	-	12:20	12:17	-	12:12	時予

区間記録 / 1時間16分15秒 / 神野大地 (青山学院大学) 第91回 (2015年)

5区 応援区長 横田 純一 (経済学部) 緊急連絡先090-4050-2418

9:00	-	9:05	9:08	9:10	9:19	-	9:27	-	9:34	-	9:48	-	9:58	10:08	時予
0km	0.95	1.8	2.5	3.0	6.0	7.0	9.1	10.6	11.6	13.7	15.9	16.9	19.1	21.3	距離
23.2	21.8	18.9	18.4	15.8	14.3	11.2	9.6	6.2	5.5	4.5	2.5	1.5	0.7	0km	
13:31	13:26	13:14	-	13:00	12:48	12:38	-	12:28	-	12:20	12:17	-	12:12	時予	

5区 / 前回大会から函館洞門の封鎖に伴い、バイパスへ迂回することとなり、約20メートル延長されている。第82回大会より10区間で最長区間となっている。ゴール付近では応援リーダー部・吹奏楽研究会による応援が指定場所で繰り広げられている。コースの特徴は、標高差864メートルを駆け上がる区間であると同時に最長区間でもある。さらに、最高点を過ぎたラスト4キロほどは下りとなり選手の足の筋肉を極限状態に追い込む。加えて非常に気温の低い山中を走るため、平地とはかなりの温度差となる。コースは曲がりくねった急な上り坂が続き、カーブが多いので選手のコース取りも重要なポイントとなる。



第91回大会 6区スタート 渡部良太選手



7区 応援区長 加藤 義和 (小田原校門会) 緊急連絡先090-2758-7176

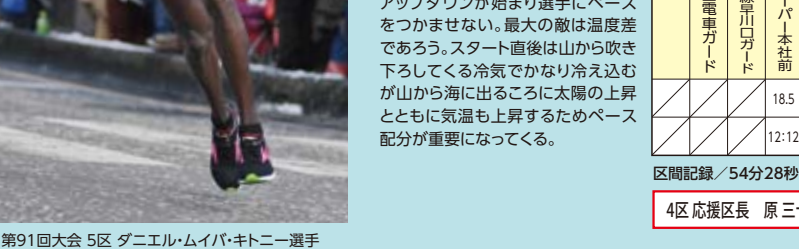
区間記録 / 1時間2分32秒 / 設楽悠太 (東洋大学) 第88回 (2012年)

9:00	-	9:05	9:08	9:10	9:19	-	9:27	-	9:34	-	9:48	-	9:58	10:08	時予
0km	0.95	1.8	2.5	3.0	6.0	7.0	9.1	10.6	11.6	13.7	15.9	16.9	19.1	21.3	距離
23.2	21.8	18.9	18.4	15.8	14.3	11.2	9.6	6.2	5.5	4.5	2.5	1.5	0.7	0km	
13:31	13:26	13:14	-	13:00	12:48	12:38	-	12:28	-	12:20	12:17	-	12:12	時予	

区間記録 / 54分28秒 / 田村和希 (青山学院大学) 第91回 (2015年)

4区 応援区長 原 三十四 (小田原校門会) 緊急連絡先090-8947-5474

9:00	-	9:05	9:08	9:10	9:19	-	9:27	-	9:34	-	9:48	-	9:58	10:08	時予
0km	0.95	1.8	2.5	3.0	6.0	7.0	9.1	10.6	11.6	13.7	15.9	16.9	19.1	21.3	距離
23.2	21.8	18.9	18.4	15.8	14.3	11.2	9.6	6.2	5.5	4.5	2.5	1.5	0.7	0km	
13:31	13:26	13:14	-	13:00	12:48	12:38	-	12:28	-	12:20	12:17	-	12:12	時予	



第91回大会 5区 ダニエルムイバキトニー選手



第91回大会 4区 高野千尋選手



3区 応援区長 佐々木 透 (湘南校門会) 緊急連絡先090-3220-7318

区間記録 / 1時間1分38秒 / オンデバ・コスマス (山梨学院大学) 第88回 (2012年)

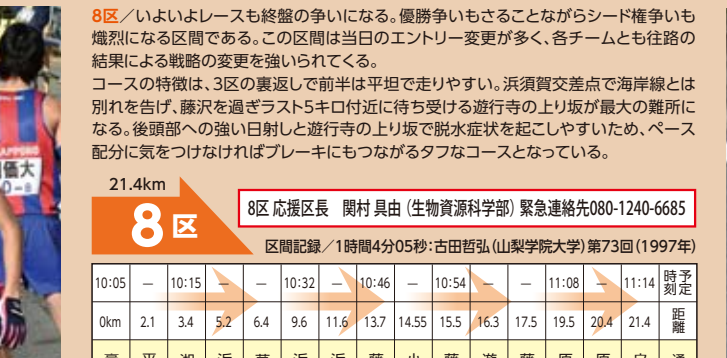
10:05	-	10:15	-	10:32	-	10:46	-	10:54	-	11:08	-	11:14	時予		
0km	2.1	3.4	5.2	6.4	9.6	11.6	13.7	14.55	15.5	16.3	17.5	19.5	20.4	21.4	距離
21.4	19.3	18.1	16.3	15.1	11.9	10.0	7.8	6.9	6.0	5.0	4.0	2.0	1.1	0km	時予
11:17	-	11:02	-	10:48	-	10:36	-	10:31	-	10:25	10:19	-	10:13	時予	

区間記録 / 1時間1分38秒 / オンデバ・コスマス (山梨学院大学) 第88回 (2012年)

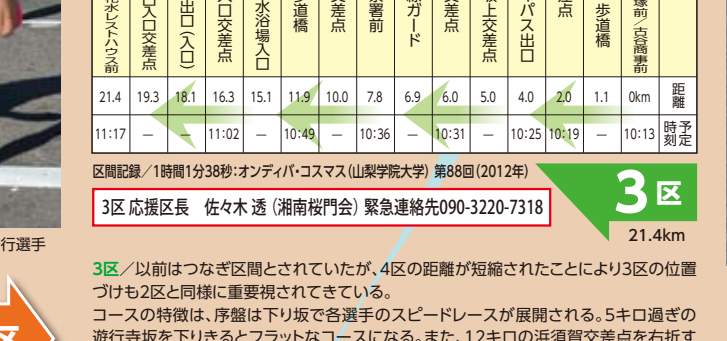
3区 応援区長 佐々木 透 (湘南校門会) 緊急連絡先090-3220-7318

10:05	-	10:15	-	10:32	-	10:46	-	10:54	-	11:08	-	11:14	時予		
0km	2.1	3.4	5.2	6.4	9.6	11.6	13.7	14.55	15.5	16.3	17.5	19.5	20.4	21.4	距離
21.4	19.3	18.1	16.3	15.1	11.9	10.0	7.8	6.9	6.0	5.0	4.0	2.0	1.1	0km	時予
11:17	-	11:02	-	10:48	-	10:36	-	10:31	-	10:25	10:19	-	10:13	時予	

3区 / 以前はつなぎ区間とされていたが、4区の距離が短縮されたことにより3区の位置づけも2区と同様に重要視されてきている。コースの特徴は、序盤は下り坂で各選手のスピードレースが展開される。5キロ過ぎの遊行寺坂を下りきるとフラットなコースになる。また、12キロの浜須賀交差点を右折すると選手には正面に富士山、左手に相模湾と絶景が待っている。しかしながら、海岸線の道は風の影響を受けやすいことと正面からの日射しは選手の体力を奪うことにもなる。前半の下りでスタミナを消耗するとラストパートが効かなくなることも。第82回大会で本学の福井誠選手が10人のゴボウ抜きをしたように、この区間でも順位の入替わりが烈しく起こる。



第91回大会 7区 高松峻平選手から8区 町井宏行選手へのタスキリレー



2区 応援区長 庄司 晃 (神奈川県支部) 緊急連絡先090-4020-2990

区間記録 / 1時間6分04秒 / メクボ・ジョブ・モグス (山梨学院大学) 第85回 (2009年)

11:14	-	11:26	-	11:39	-	11:49	11:57	11:59	-	12:05	-	12:10	12:15	-	12:24	時予	
0km	3.0	4.0	5.0	5.9	8.5	9.1	11.7	14.1	14.7	16.1	17.1	17.6	18.5	20.2	22.1	23.1	距離
23.1	20.0	19.2	18.2	17.3	14.6	14.0	11.5	9.0	8.5	7.2	6.1	5.6	4.7	3.0	1.1	0km	時予
10:13	-	10:00	-	9:48	-	9:38	9:31	9:29	-	9:21	-	9:18	9:13	-	9:04	時予	

区間記録 / 1時間6分04秒 / メクボ・ジョブ・モグス (山梨学院大学) 第85回 (2009年)

2区 応援区長 庄司 晃 (神奈川県支部) 緊急連絡先090-4020-2990

11:14	-	11:26	-	11:39	-	11:49	11:57	11:59	-	12:05	-	12:10	12:15	-	12:24	時予	
0km	3.0	4.0	5.0	5.9	8.5	9.1	11.7	14.1	14.7	16.1	17.1	17.6	18.5	20.2	22.1	23.1	距離
23.1	20.0	19.2	18.2	17.3	14.6	14.0	11.5	9.0	8.5	7.2	6.1	5.6	4.7	3.0	1.1	0km	時予
10:13	-	10:00	-	9:48	-	9:38	9:31	9:29	-	9:21	-	9:18	9:13	-	9:04	時予	

2区 / ご存じ「花の2区」。第82回大会から最長区間ではなくなりましたが、各校ともエースが集う。コースの特徴は、鶴見中継所から保土ヶ谷駅まで平坦なコースとなっているが、14キロ付近の権太坂では高低差約40メートルの上り坂を駆け上がる。ここで体力を消耗するとラストで失速の危険性も。ラスト3キロのアップダウンはこの区間最大の難所であり、2区最大の見せ場となる。第85回大会では本学ダニエル選手が20人のゴボウ抜き記録を更新、第86回大会では11人抜きしたことは記憶に新しい。



第91回大会 2区 石川颯真選手



1区 応援区長 菊池 智洋 (法学部) 緊急連絡先090-2630-2311

区間記録 / 1時間1分06秒 / 佐藤悠基 (東海大学) 第83回 (2007年)

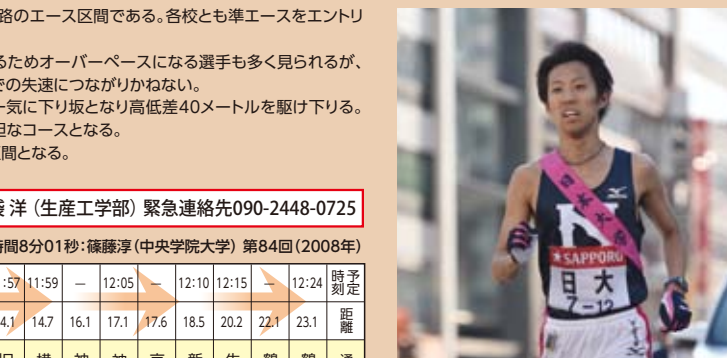
12:24	12:26	-	12:35	-	12:42	-	12:52	-	-	13:06	-	13:13	13:19	-	13:31	13:34	時予	
0km	0.8	2.4	3.3	5.3	6.0	7.6	9.3	11.5	13.4	14.2	15.1	16.4	17.6	18.4	19.9	22.1	23.0	距離
21.3	20.6	19.0	17.9	16.1	15.4	13.8	12.0	10.0	7.8	7.2	6.3	5.0	3.8	3.0	1.5	-	0km	時予
9:04	-	8:57	8:54	-	8:46	-	8:36	8:30	-	8:22	-	8:15	-	8:09	-	-	8:00	時予

区間記録 / 1時間1分06秒 / 佐藤悠基 (東海大学) 第83回 (2007年)

1区 応援区長 菊池 智洋 (法学部) 緊急連絡先090-2630-2311

12:24	12:26	-	12:35	-	12:42	-	12:52	-	-	13:06	-	13:13	13:19	-	13:31	13:34	時予	
0km	0.8	2.4	3.3	5.3	6.0	7.6	9.3	11.5	13.4	14.2	15.1	16.4	17.6	18.4	19.9	22.1	23.0	距離
21.3	20.6	19.0	17.9	16.1	15.4	13.8	12.0	10.0	7.8	7.2	6.3	5.0	3.8	3.0	1.5	-	0km	時予
9:04	-	8:57	8:54	-	8:46	-	8:36	8:30	-	8:22	-	8:15	-	8:09	-	-	8:00	時予

1区 / 大手町読売新聞東京本社を午前8時に、応援リーダー部や吹奏楽研究会の応援に見送られて一斉スタートとなる。この1区は駅伝の流れを作る大事な区間であることは言うまでもない。そのため、各大学とも準エース級のスピードランナーをエントリーしている。コースの特徴は、新八幡山橋と六郷橋にアップダウンがある以外は平坦なコースとなる。スタート直後に飛び出す展開になるが、お互いに牽制があって集団でのスロペースになるのが見所になる。いずれにしても18キロの六郷橋の下りを利用してラストパートをかけて鶴見中継所に押す。1区のスタートダッシュで勝負をかける。



第91回大会 9区 大門友也選手



8区 応援区長 関村 具由 (生物資源科学部) 緊急連絡先080-1240-6685

区間記録 / 1時間4分05秒 / 古田哲弘 (山梨学院大学) 第73回 (1997年)

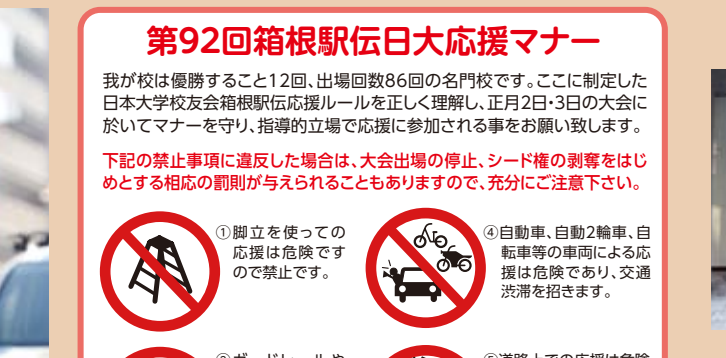
10:05	-	10:15	-	10:32	-	10:46	-	10:54	-	11:08	-	11:14	時予		
0km	2.1	3.4	5.2	6.4	9.6	11.6	13.7	14.55	15.5	16.3	17.5	19.5	20.4	21.4	距離
21.4	19.3	18.1	16.3	15.1	11.9	10.0	7.8	6.9	6.0	5.0	4.0	2.0	1.1	0km	時予
11:17	-	11:02	-	10:48	-	10:36	-	10:31	-	10:25	10:19	-	10:13	時予	

区間記録 / 1時間4分05秒 / 古田哲弘 (山梨学院大学) 第73回 (1997年)

8区 応援区長 関村 具由 (生物資源科学部) 緊急連絡先080-1240-6685

10:05	-	10:15	-	10:32	-	10:46	-	10:54	-	11:08	-	11:14	時予		
0km	2.1	3.4	5.2	6.4	9.6	11.6	13.7	14.55	15.5	16.3	17.5	19.5	20.4	21.4	距離
21.4	19.3	18.1	16.3	15.1	11.9	10.0	7.8	6.9	6.0	5.0	4.0	2.0	1.1	0km	時予
11:17	-	11:02	-	10:48	-	10:36	-	10:31	-	10:25	10:19	-	10:13	時予	

8区 / いよいよレースも終盤の争いになる。優勝争いもさることながらシード争いも熾烈になる区間である。この区間は当日のエントリー変更が多く、各チームとも往路の結果による戦略の変更を強いられる。コースの特徴は、3区の裏返しで前半は平坦で走りやすい。浜須賀交差点で海岸線とは別れを告げ、藤沢を過ぎラスト5キロ付近に待ち受ける遊行寺の上り坂が最大の難所になる。後頭部への強い日射しと遊行寺の上り坂で脱水症状を起こしやすいので、ペース配分に気をつけなければブレーキにもつながるタフなコースとなっている。



第91回大会 10区 スタート 荻野颯乃介選手



9区 応援区長 鳥袋 洋 (生産工学部) 緊急連絡先090-2448-0725

区間記録 / 1時間8分01秒 / 藤藤淳 (中央学院大学) 第84回 (2008年)

11:14	-	11:26	-	11:39	-	11:49	11:57	11:59	-	12:05	-	12:10	12:15	-	12:24	時予	
0km	3.0	4.0	5.0	5.9	8.5	9.1	11.7	14.1	14.7	16.1	17.1	17.6	18.5	20.2	22.1	23.1	距離
23.1	20.0	19.2	18.2	17.3	14.6	14.0	11.5	9.0	8.5	7.2	6.1	5.6	4.7	3.0	1.1	0km	時予
10:13	-	10:00	-	9:48	-	9:38	9:31	9:29	-	9:21	-	9:18	9:13	-	9:04	時予	

区間記録 / 1時間8分01秒 / 藤藤淳 (中央学院大学) 第84回 (2008年)

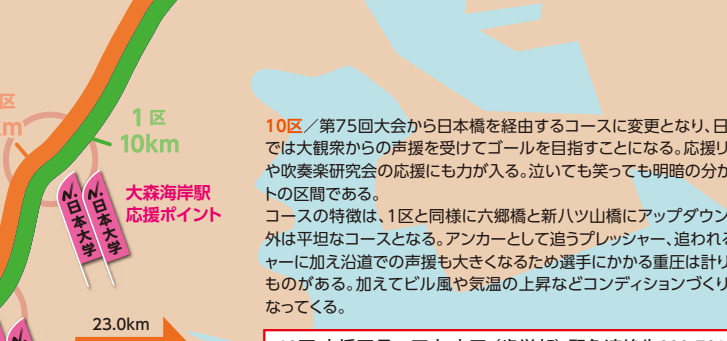
9区 応援区長 鳥袋 洋 (生産工学部) 緊急連絡先090-2448-0725

11:14	-	11:26	-	11:39	-	11:49	11:57	11:59	-	12:05	-	12:10	12:15	-	12:24	時予	
0km	3.0	4.0	5.0	5.9	8.5	9.1	11.7	14.1	14.7	16.1	17.1	17.6	18.5	20.2	22.1	23.1	距離
23.1	20.0	19.2	18.2	17.3	14.6	14.0	11.5	9.0	8.5	7.2	6.1	5.6	4.7	3.0	1.1	0km	時予
10:13	-	10:00	-	9:48	-	9:38	9:31	9:29	-	9:21	-	9:18	9:13	-	9:04	時予	

9区 / 2区の裏返し区間であり、往路同様に復路のエース区間である。各校とも準エースをエントリーさせておくことが多い。コースの特徴は、中継所から急な下り坂になるためオーバーペースになる選手も多く見られるが、アップダウンの厳しいコースであるため後半での失速につながりかねない。5キロ過ぎの権太坂を上りきると、その後は一気に下り坂となりかなり高低差40メートルを駆け下りる。11キロの保土ヶ谷駅前を過ぎると、あとは平坦なコースとなる。優勝・シード争いにとって、もっとも重要な区間となる。



第91回大会 1区 スタート 荻野颯乃介選手



10区 応援区長 田中 宏司 (歯学部) 緊急連絡先